



McAfee Complete Endpoint Protection—Enterprise

脅威対策のライフサイクル全体を網羅するインテリジェントな統合セキュリティ

主な特長

- セキュリティを侵害したり、ビジネスの継続性を損なうことなく、新種の脅威やサンドボックスを回避するマルウェアを追跡し、隔離します。
- インテリジェントなエンドポイント保護、デスクトップとノートPCの侵入防止/ファイアウォール、デバイス制御、暗号化などの技術を搭載し、最も包括的な多層防御を提供します。
- PC、Mac、Linux、仮想マシンなど、すべてのエンドポイントを一元的に管理できます。
- 動的なホワइटリストにより、アプリケーションを狙う攻撃を減らすことができます。管理作業に時間や手間はかかりません。
- 分かりやすいフォレンジック情報を利用し、高度脅威に迅速に対応できます。
- 必要なセキュリティ管理を直接実行し、リスクを管理します。

エンドポイントセキュリティがビジネスを妨げてはなりません。従業員の作業を邪魔することなく、ビジネスを保護する必要があります。強力で高性能な McAfee® Complete Endpoint Protection—Enterprise スイートを使用すると、統合管理環境でセキュリティとリスクの状況をリアルタイムで把握できます。この高度な脅威対策は、グローバルとローカルの脅威情報を利用し、アプリケーションの制御と隔離、動作分析による侵入防止により、複雑なステルス型脅威からシステムとデータを保護します。これらの機能は統合ソリューションとして提供されるので簡単に管理できます。

McAfee Complete Endpoint Protection—Enterprise を使用すると、組織に最適なセキュリティをすぐに実装し、脅威に対して迅速な対応を行うことができます。1つの統合ソリューションで、PC、Mac、Linux、仮想マシンなど、企業のすべてのデバイスを保護できます。ルートキット、Webとメールを利用した標的型攻撃、持続型攻撃からエンドポイントを保護しながら、管理作業の煩雑さを解消し、コストを抑えることができます。このような強力で効率的なセキュリティ管理を提供しているのは、エンドポイントセキュリティをリードする Intel Security だけです。

高度な脅威対策

高度な脅威を阻止するには、McAfee Complete Endpoint Protection—Enterprise が最適です。アプリケーションの動的隔離により、グレーウェア、ランサムウェアなどの新たな形態の脅威や、新種の脅威、高度な脅威からシステムを保護し、システムへの侵入を阻止します。システムのセキュリティを侵害することなく、不審な脅威の動作を分析します。独自のアクセス保護ルールの作成も可能です。軽量で、クラウドへの接続も不要なので、ネットワークへの接続状態に関係なくユーザーを保護できます。

Intel Security は、インテリジェントなエンドポイント保護、デスクトップとノートPCの侵入防止とファイアウォール、デバイス制御など、多層型の保護対策でマルウェアを迅速に検出し、問題を修復します。また、アプリケーション制御のインテリジェントホワइटリストにより、ゼロデイ脅威や高度な持続型脅威 (APT) で使用される有害なアプリケーションとコードの実行を防ぎます。

クラウドベースの McAfee Global Threat Intelligence (GTI) により、ファイル、Web、メッセージ、ネットワーク経由で発生する新たな脅威をリアルタイムで検出し、組織を保護します。McAfee GTI から取得したグローバルの脅威情報とローカルの脅威情報により、新たに発生した脅威を迅速に阻止します。Intel Security は、120 か国以上に 1 億台を超える脅威センサーを配備し、1日に 450 億以上のクエリーを処理しています。1日に 150 万個以上のファイルと 100 万個の URL を分析し、業界で最も優れたグローバル脅威情報を提供しています。

Intel Security: 業界のリーダー

- Magic QuadrantのEndpoint Protection Platforms部門で13年連続リーダーに選出 (Gartner)¹

高速でインテリジェントなスキャン

集中したスキャンとアクションにより、ビジネスの妨げにならない、信頼できるセキュリティを提供します。CPUとメモリーの使用状況を最適化する高度なスマート スキャンとメモリー管理機能により、すべてのプラットフォームで優れたパフォーマンスを実現します。McAfee Application Controlとそのシグネチャレスの更新により、CPUとメモリー使用率が極端に低くなるので、スキャンやDAT更新サイクルで負荷が高くなることはありません。

配備が簡単な集中管理

セキュリティのセットアップは4回ほどのクリック、20分程度で終わります。McAfee® ePolicy Orchestrator® (McAfee ePO™) の統合管理環境に

高度脅威を阻止するセキュリティ対策の連携

技術	機能	処理
McAfee Endpoint Security 10	複数の脅威対策間の通信を可能にします。無関係に見えるイベントを関連付け、標的型攻撃を検出します。	<ul style="list-style-type: none"> • アプリケーションの動的隔離がランサムウェア、グレーウェイ、新種の脅威からシステムを保護し、システムへの侵入を阻止します。 • 複数の脅威対策が情報を交換し、新たに発生する脅威を検出します。 • 適応型のインテリジェントなスキャン機能が、複数の情報源から監視結果を取得し、新たに発生する攻撃をリアルタイムに検出します。 • 脅威対策でグローバルとローカルの脅威情報を使用します。 • 不審なアプリケーションやプロセスを検出すると自動的にアクションを実行します。迅速にエスカレーションを行うだけでなく、他の脅威対策やグローバルコミュニティに情報を提供します。
McAfee Threat Intelligence Exchange	グローバルなデータソースとサードパーティから収集した情報を提供します。ローカルでリアルタイムに発生しているイベントとその履歴から脅威情報を収集します。	<ul style="list-style-type: none"> • エンドポイント、ゲートウェイ、他のセキュリティ コンポーネントによって検出された情報を利用し、グローバル ネットワーク上の組織を狙う脅威を分析します。 • マルウェア対策から収集した脅威情報をData Exchange Layer経由ですべてのエンドポイントに瞬時に配信し、脅威を未然に防ぎます。 • 組織の要件に応じて、発行者の証明書リスト、ファイルハッシュ、リスク許容度をカスタマイズできます。
McAfee Active Response	実行中の調査結果をリアルタイムで使用し、インシデント対応能力を強化します。	<ul style="list-style-type: none"> • コンテキストとシステムの状態変化を自動的に監視して、攻撃の兆候 (IoA) や攻撃コンポーネントの潜伏を検出し、分析、運用、フォレンジックの各チームに脅威情報を提供します。 • 攻撃方法、データの自動収集、アラート、対応方法を調整できます。また、カスタムワークフローを提供します。 • 攻撃イベントの検出時に管理者とシステムに攻撃を警告します。
McAfee Application Control	社内のデスクトップと専用デバイスでの不正なアプリケーションやコードの実行を防ぎます。	<ul style="list-style-type: none"> • 動的な信用モデルと革新的なセキュリティ機能で高度な持続型脅威を阻止します。シグネチャの更新も手間のかかるリスト管理も不要です。 • McAfee Global Threat Intelligenceとの統合により、承認されたアプリケーションとコードのみを実行し、既知または未知の不正コードの実行を阻止します。 • McAfee Threat Intelligence Exchangeと一緒に配備することで、ローカルの脅威情報を使用してホワイトリストを強化し、未知の標的型のマルウェアを迅速に阻止できます。McAfee Threat Intelligence ExchangeはMcAfee Advanced Threat Defenseと連携し、サンドボックスで未知のアプリケーションの動作を動的に分析します。すべてのエンドポイントを新たに検出されたマルウェアから自動的に保護します。

注: McAfee Threat Intelligence Exchange、McAfee Active Response、McAfee Advanced Threat DefenseはMcAfee Endpoint Protection製品のオプション モジュールで、別売りになります。

より、すべてのデバイスのポリシーを管理できます。また、全体のセキュリティ状況を一目で把握できます。

McAfee Application Controlは、動的な信用モデルを使用してホワイトリストを自動的に更新します。手間のかかる管理作業は不要です。

脅威対策のライフサイクル全体を網羅

McAfee Complete Endpoint Protection—Enterpriseは、プロアクティブな防御対策により、現在の複合的な脅威を阻止します。

Intel Securityの統合アーキテクチャ

McAfee Complete Endpoint Protection—Enterpriseスイートを使用すると、セキュリティとリスク状況を最適化し、コストの削減と敏捷性の向上を実現できます。統合されたセキュリティフレームワークと拡張可能なエンドポイントアーキテクチャにより、冗長性を排除して管理作業を簡素化し、インシデント対応をより効率的に行うことができます。また、集中管理によってセキュリティの無駄を省き、将来的にも有益なフレームワーク

を構築できます。セキュリティ対策とインシデントの管理が自動的に行われるので、セキュリティ管理を効率的に行うことができます。リアルタイムのセキュリティ管理とグローバル脅威情報により、ビジネスに対するリスクを迅速に識別し、優先順位を付けて対応することができます。詳細については、www.mcafee.com/jp/products/complete-endpoint-protection-enterprise.aspxをご覧ください。

McAfee Complete Endpoint Protection—Enterpriseスイートのハイライト

マルウェア対策 (PC、Mac、Linux、仮想マシン)

McAfee Endpoint Security

- 複数のエンドポイント保護技術とリアルタイムで通信を行い、新しい高度脅威を迅速に阻止し、システムやユーザーへの影響を未然に防ぎます。
- 業界最先端でエンタープライズクラスのマルウェア対策でゼロデイの脅威を阻止します。
- McAfee Active Responseなどの高度な脅威対策との統合も可能です。

アプリケーションの動的隔離

- セキュリティを侵害することなく、グレーウェア、ランサムウェア、新種の脅威などの動作を分析し、隔離します。クラウドへの接続は不要です。

アプリケーション制御

- システムパフォーマンス、ユーザー、管理者に対する影響を最小限に抑えながら、不要なアプリケーションとマルウェアのインストールと実行を阻止します。

デスクトップとノートPCを保護する侵入防止/ファイアウォール

- 未知のゼロデイの脅威と新しい脆弱性に対する攻撃を阻止します。
- 緊急パッチの回数が少なくなります。
- エクスプロイト、メモリーに対する攻撃、特権昇格を狙う脅威などを阻止するため、セキュリティ統制をカスタマイズできます。

Global Threat Intelligence

- 世界各地に配備された数百万台のセンサーからリアルタイムで脅威情報を収集します。攻撃経路に関係なく、新たに発生する脅威を阻止します。
- 120か国以上に1億台を超えるグローバル脅威センサーを配備し、業界で最も優れたグローバル脅威情報を提供します。

Webとメールの保護

URLフィルタリングと安全検索によるWeb管理

- ユーザーが閲覧する前にWebサイトの危険性を通知します。リスクを軽減し、コンプライアンスを維持できます。
- Web閲覧ポリシーを施行し、Webアクセスを承認または阻止します。

メール サーバー用のマルウェア対策とスパム対策

- メール サーバーへのマルウェアの侵入を阻止し、ユーザーのメールボックスを保護します。
- McAfee GroupShieldにより、Microsoft Exchange ServerとLotus Dominoサーバーのマルウェアを検出、駆除、ブロックします。

データ保護

デバイスコントロール

- リムーバブルメディアの使用を制限し、重要なデータの漏えいを防ぎます。

管理

McAfee ePO

- 一元管理された単一のコンソールでポリシー、コンプライアンス、レポートを管理します。
- クロスプラットフォーム ポリシーにより、異なるOSが混在する環境でも簡単に管理できます。



McAfee. Part of Intel Security.

マカフィー株式会社

東京本社 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 1-12-1
渋谷マークシティエントランス 20F
TEL 03-5428-1100 (代) FAX 03-5428-1480

西日本支店 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島 2-2-2
近鉄堂島ビル 18F
TEL 06-6344-1151 (代) FAX 06-6344-1517

名古屋営業所 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 4-6-17
名古屋ビルディング 13F
TEL 052-551-6233 (代) FAX 052-551-6236

福岡営業所 〒810-0801 福岡県福岡市博多区中洲 5-3-8
アクア博多 5F
TEL 092-287-9674 (代)

www.intelsecurity.com

1. 2002年に最初のレポートが公開されました。以前のタイトルには、Magic Quadrant for Enterprise Antivirusが含まれています。